

令和7年6月16日

応用自然科学専攻進学説明会 兼入試説明会



1. 組織
2. 学位授与までの流れ
3. 教育
4. 入試について
5. 出願期間
6. 出願書類について
7. 試験日・選抜方法
8. 合格発表、入学手続きについて
9. 問い合わせ

- 募集要項もご覧ください。
- 不明な点がある場合は、入試課並びに専攻学務委員長(森)にお尋ねください。



配信期間は本学大学院入試HP及びmoodleに音声動画を添付致します。

1. 組織

高知大学大学院
総合人間自然科学研究科 (博士課程)

応用自然科学専攻

医学専攻

黒潮圏総合科学専攻

愛媛大学大学院連合農学研究科

1. 組織 研究分野

社会実装



数理・物理・情報学分野

- ・ 計算システム・ソフトウェア科学領域
- ・ 代数・幾何学領域
- ・ 粒子・宇宙物理学領域
- ・ 物性物理・物性化学領域

数物・宇宙・AI・マテリアル

生物科学分野

- ・ 古生物・分子古生物学領域
- ・ 分類・生態学領域
- ・ 比較生化学領域
- ・ 分子生理学領域
- ・ 植物細胞生物学領域

バイオ・生命科学・海洋

分野横断型の研究教育の実現

化学生命理工学分野

- ・ 有機材料・反応化学領域
- ・ 機能物質・複合化学領域
- ・ 生命理工学領域

マテリアル・バイオ・光化学

地球科学・防災工学分野

- ・ 地球科学領域
- ・ 防災工学領域

地球環境・海洋・防災

- ① 分野横断の研究教育によって基礎科学研究をさらに深化
- ② 工学要素を追加し社会実装へのステップに必要な応用科学・理工学を強化
- ③ 基礎科学から社会実装までの一連を見据えた研究視点を涵養

各分野の担当教員は配付資料と募集要項で確認

2. 学位授与までの流れ

学位の名称

博士（理工学）または博士（理学）

化学生命理工学分野

地球科学・防災工学分野

数理・物理・情報学分野

生物科学分野

- 学生は、入学者選抜の段階で志向する研究分野及び研究計画を提出し、入学後当該分野の研究を開始するため、原則として、研究分野に対応した学位を授与する。
- ただし、学位（理学）が設定されている分野で、分野横断型の研究を志向する学生が、学位（理工学）が設定されている分野で研究を行う場合、主指導教員及び副指導教員からの履修指導の下で選択する専門科目の履修状況、当該学生の研究課題及び研究の進捗状況等を勘案し、**1年次末に決定**する。

（研究を志向・研究課題・専門科目の履修状況等で、学位を変更する場合がある）

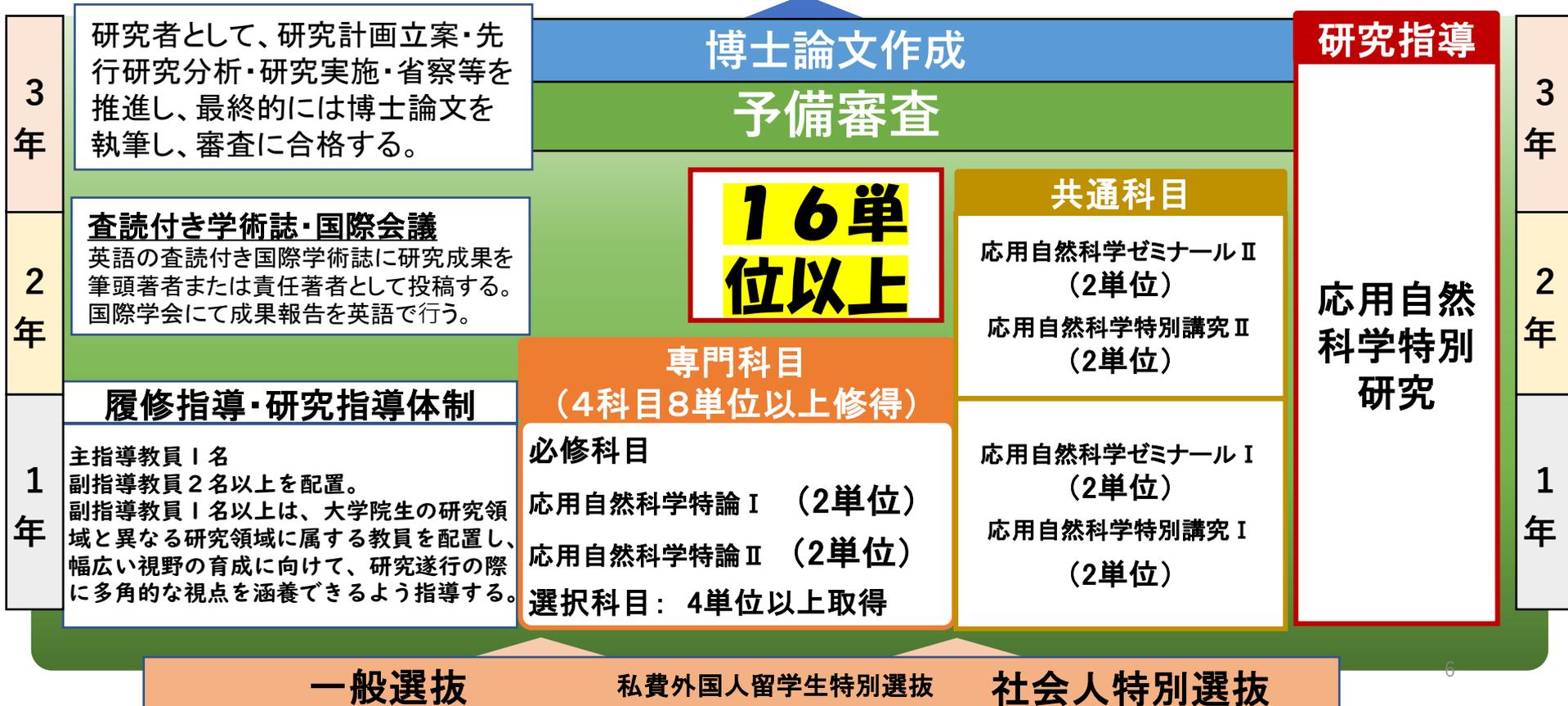
**研究分野の担当教員に関する詳細は、
「配付資料」または「募集要項」を確認ください**

2. 学位授与までの流れ

教育の流れ

基礎理学、応用理学及び理工学の分野横断的な連携を通じて、自身の研究領域におけるイノベーション創出・社会実装に取り組むことができる高度な専門性、知識と技能を備えた研究開発型人材、理工系高度専門職業人の育成

学位取得 ・ ・ 博士（理学） ・ 博士（理工学）



3. 教育 履修科目の内容 (抜粋)



応用自然科学特論 I (必修2単位)

オムニバス形式で実施

- ▶ 前半6回「知的財産」、「共同研究・技術移転」に係る知識や、「研究内容の効果的な提案方法や外部予算獲得等も含めた総合的な研究計画の立案に必要な手法」を修得させる。
- ▶ 後半8回 起業経験のある兼任教員、本学研究プロジェクト推進のため民間企業等からヘッドハンティングした兼任教員、民間企業等における研究開発経験を有する兼任教員が、研究開発や地域課題解決に係る事例等を教授する講義を実施する。
- ▶ **イノベーション創出・社会実装に必要な知識を修得した上で、博士課程大学院生の修了後を見据えた「キャリアパス」、「キャリアデザイン」につなげる契機とする。**

(1) ガイダンス

(2) 産学連携と技術移転

(3)(4) 知的財産について & 特許権の概要、著作権の概要及び不正競争防止法の概要について

(5)(6) 研究プロジェクトの企画・外部資金獲得、研究プロジェクトの運営・成果発信

(7) 第一次産業におけるデータサイエンスの応用

(8) 研究成果の社会実装—青果物鮮度保持技術の社会実装を例として

(9) 海藻に関する研究成果の産業利用と起業

(10) 海藻での地域活性化

(11) 共同研究からの社会実装

(12) 共同研究成果の技術移転

(13) 固体分析の社会実装

(14) 橋梁事業を例に—社会に技術を活かす

(15) 博士課程院生の修了後のキャリアパス・キャリアデザイン

3. 教育 履修科目の内容 (抜粋)

応用自然科学特論Ⅱ (必修2単位)



オムニバス形式で実施

- 自己の専門領域に係る知識を獲得するとともに、専門領域に係る思考力・判断力を涵養する上で、研究成果の社会実装に必要な知識を獲得する。
- 分野横断型研究を実施している専任教員が、専門領域や近接領域における国際的な動向や最先端の知識を修得させる。
- アカデミアの学術的知見を社会実装に結びつけた実例について学び、「応用自然科学特論Ⅰ」で学んだ知識と総合させ、**博士修了後のキャリアアップにつながる知識**を修得する。

ガイダンス：	1回
数理・物理・情報学分野：	3回
生物科学分野：	2回
化学生命理工学分野：	6回
地球科学・防災工学分野：	3回

3. 教育 履修科目の内容 (抜粋)



応用自然科学特別講究Ⅰ (必修2単位)

- **研究計画及び研究成果の発表(日本語 or 英語)**
- 主指導教員・副指導教員による研究の見直し
- 履修後、主指導教員が、専門科目の履修状況、当該学生の研究課題及び研究の進捗状況等を基に応用自然科学専攻会議の審議を経た上で、授与する学位をあらためて決定する。

応用自然科学特別講究Ⅱ (必修2単位)

- **研究計画及び研究成果の発表(英語必修)**

3. 応用自然科学専攻の教育

修了要件

- ✓ 3年以上在学し、
- ✓ 16単位以上を修得し、
- ✓ 必要な研究指導を受けた上、
- ✓ 博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りる。(修士課程または博士前期課程を早期修了した者は、通算して3年以上の在学期間が必要)

(早期修了の要件は履修要項を要確認)

3. 修了要件

学位論文について

レフェリーシステムの確立した学術論文誌に掲載されたもの、
掲載されうるものを基に独自に作成

参考論文について

- レフェリーシステムの確立した学術論文誌に掲載されたもの、
または掲載が決定したもの
- 学位論文と参考論文のうち1編以上は英語であること
- 参考論文のうち、少なくとも1編は筆頭著者であること
- 参考論文は、博士課程入学後に出版されたもの

3. 学位授与までの流れ

予備審査の手続き前におけるプレゼンテーションの実施

- 予備審査手続き1か月前までに、主・副指導教員3名以上の面前で、論文の構想・内容等についてのプレゼンテーションを行わなければならない。

9月下旬～10月上旬

3月修了の場合

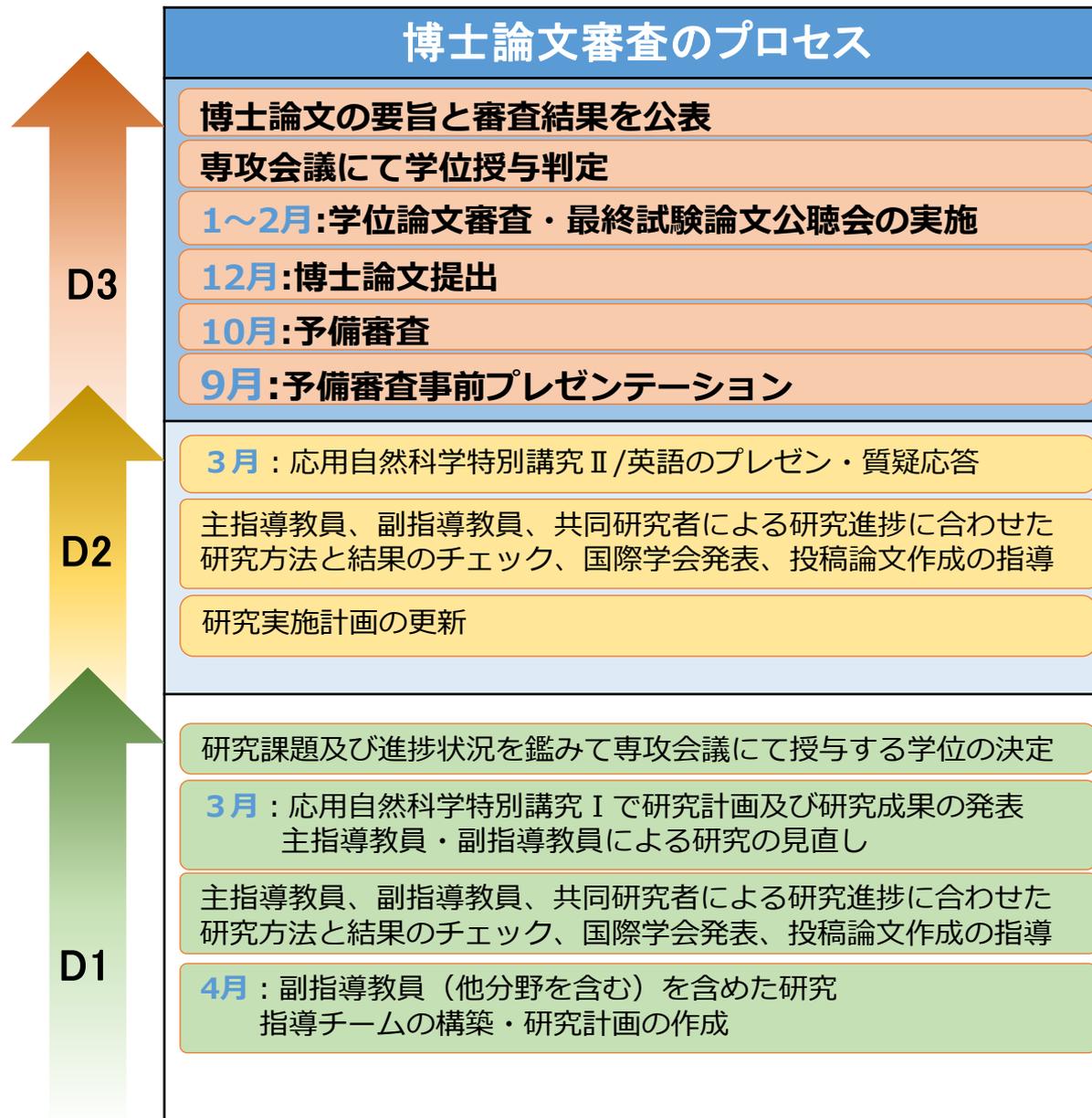
10月末までに予備審査の申請

予備審査について

11月上旬

- 予備審査までに、博士学位論文に関連した筆頭著者の国際学術誌を1編以上公表すること
- 国際会議またはそれと同等の研究会での発表を1件以上行うことを義務づける。

3. 学位授与までの流れ



博士の学位を取るメリット・デメリット

メリット

研究を深められる

達成感を得られる



肩書が変わりブランド力がある

グローバルでも認められる

世界の研究者として活躍するためのライセンス！

デメリット

企業への就職が遅れる

実際、そんなことはないが・・・

日本の企業にはまだ博士号の受け皿が少ない



探求力と共に、
コミュニケーション力、まとめ力
を自分で伸ばしていきましょう！

4. 入試について

定員 6名

第2次・第3次募集実施の有無・変更は、本学ホームページにて知らせる

出願資格

- (1) **修士の学位**又は専門職学位(学校教育法第104条第3項の規定に基づき学位規則(昭和28年文部省令第9号)第5条の2に規定する専門職学位をいう。以下同じ。)を有する者及び入学の前月にあたる**2025年9月又は2026年3月までに取得見込みの者**
- (2) (以下省略)

募集要項 pp. 2 ~ 3 に詳細があります

入試実施状況

年度	志願者	合格者
H27	6	6
H28	1	1
H29	3	3
H30	5	5
H31	10	10(内、辞退2)
2020	3	3
2021	2(10月入学1)	2(10月入学1)
2022	7	7
2023	4	4
2024	7(10月入学1)	7(10月入学1)
2025	18	14

(社会人特別選抜・私費外国人留学生特別選抜を含む)

5. 出願期間

【2025年10月入学及び2026年4月入学第1次募集】

2025年7月15日(火)～17日(木) 8時30分～17時《必着》

【2026年4月入学第2次募集】

2025年12月16日(火)～18日(木) 8時30分～17時《必着》

【2026年4月入学第3次募集】

2026年2月10日(火)～13日(金) 8時30分～17時《必着》

6. 出願書類について

- ①入学願書
- ②受験票、写真票、入学検定料払込証明書
- ③住所シール
- ④最終出身学校の修了（見込み）証明書
- ⑤学業成績証明書
- ⑥修士の学位論文 or 研究経過報告書
- ⑦研究計画書（募集要項添付の用紙を使う）
- ⑧入学検定料(30,000円)
 - ※2025年10月入学希望者で2025年9月に本学大学院（修士課程）修了予定の者及び2026年4月入学希望者で2026年3月に本学大学院（修士課程）修了予定の者は不要です。
- ⑨受験票送付用封筒

入学願書

① 入学願書

		受験番号		※		
ふりがな			性別	男 ・ 女		
氏名			生年月日	西暦	年 月 日 生	
志望専攻	応用自然科学専攻					
志望コース 及び 研究分野	分野					
出願資格	西暦	年 月 日	国・公・私立	都・道 府・県	大学	
	学部		学科		卒業	
出願資格	西暦	年 月 日	国・公・私立	都・道 府・県	大学	
	研究科	博士前期課程 ・ 修士課程		専攻	コース ・ 分野 修了	
国籍及び 在留資格	(外国人のみ記入)					
国籍 :	在留資格 :					
選抜の種類	2025年10月入学・2026年4月入学(第1次募集 ・ 第2次募集 ・ 第3次募集)					
選抜の種類	一般選抜 ・ 社会人特別選抜					
現住所	郵便番号 (-)		電話 ()			
連絡先	郵便番号 (-)		電話 ()			
E-mail						
学 歴	西暦	年 月	高等学校 卒業			
	西暦	年 月	大学	学部 入学		
	西暦	年 月				
	西暦	年 月				
	西暦	年 月				
	西暦	年 月				
職 歴	西暦	年 月				
	西暦	年 月				
	西暦	年 月				
	西暦	年 月				
予定指導教員		○ 予定指導教員を選ぶにあたっては、「応用自然科学専攻の研究内容の概要」を参照し、この中から1人を選定してください。				

予定指導教員
と事前に連絡
を取るようにし
てください。

⑥修士の学位論文 or 研究経過報告書

- 修士の学位論文を提出する者は、学位論文の写し及びその要旨（A4用紙を用い1,000字程度、英語の場合は500語程度）をそれぞれ2部提出すること。
- 上記以外の者は、**研究経過報告書**（A4用紙を用い1,000字程度、英語の場合は500語程度）を**2部提出**すること。
- 公表論文・研究業績がある場合は、論文等の写し及び研究業績調書（募集要項添付の用紙）を提出すること。

予定指導教員と事前に連絡を取るように!

⑦研究計画書

研究計画書 Documents of Research Plan						Studies in Applied Science (Doctoral Course)	
氏名 Name	生年月日 Birthday	西暦 Year	年 Month	月 Day	日生 Day	受験番号 Examinee Number	※
志望する 専攻・分野 Prospective Research Field	応用自然科学 専攻 Studies in Applied Science					分野 Research Field	
入学後の研究テーマ Research Theme							
研究計画内容（これまでに研究業績等があれば記入してください） Contents of Research plan (Please write your research works.)							
<p style="text-align: center;"> <u>予定指導教員と</u> <u>事前に計画を打合せ。</u> </p>							

(注) 1. 研究計画内容はマイクロソフトの word 等で作成し、貼り付けても構いません。

You may make your research plan by using word processor and glue it.

2. ※印欄は、記入しないでください。Don't write anything in the ※ Examinee Number column.

7. 選抜方法

入学者の選抜は、口述試験、学業成績証明書、修士の学位論文等、研究計画書の結果を総合して行います。

口述試験

期 日	試 験 区 分	時 間
【2025年10月入学・2026年4月入学第1次募集】 2025年8月20日(水)	口 述 試 験 (配点:100点)	9時30分～
【2026年4月入学第2次募集】 2026年1月25日(日)		
【2026年4月入学第3次募集】 2026年3月3日(火)		

7. 選抜方法

- ✓ **口述試験**は**専門分野における基礎学力**及び**語学力（英語）**を含め、**受験者のこれまでの研究内容と博士課程での研究計画**についての**プレゼンテーション**を中心に行います。

予定指導教員と事前に連絡を取って
研究計画を話合っておきましょう!

8. 合格発表、入学手続きについて

合格者発表

一般選抜・社会人特別選抜・私費外国人留学生特別選抜

2025年10月入学及び2026年4月入学第1次募集

2025年9月5日(金)

第2次募集

2026年2月10日(火)

第3次募集

2026年3月9日(月)

入学手続き日

2025年10月入学

2025年9月10日(水)から9月11日(木)8時30分～17時《必着》

2026年4月入学 第1次・第2次募集

2026年3月4日(水)～6日(金)8時30分～17時《必着》

第3次募集

2026年3月17日(火)～18日(水)8時30分～17時《必着》

9. 問い合わせ

何かご質問等ありましたら、

森 勝伸 (応用自然科学専攻学務委員長)

メールアドレス mori@kochi-u.ac.jp

入試課大学院担当 (出願書類)

メールアドレス nys-web@kochi-u.ac.jp

工学部教務係

メールアドレス gm17@kochi-u.ac.jp